

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	有		
スポーツ科学部	准教授	小林 博隆		有		
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
・ICT機器を活用した授業実践	平成22年	～ 現在に至る	学習内容の理解を深めるため、講義は視聴覚機器 (PC、power point)にてスライドおよび動画を映写するとともに紙媒体の資料を配布し、展開している。また、体育授業における指導法の1つとして、ICT機器の活用例 (タブレット型PCやwebカメラを用いた映像遅延装置等)を講義内で実演し紹介している。			
・授業資料等のWEB上での公開	平成22年	～ 現在に至る	講義資料の他、保健体育科学習指導論で学生が作成した指導案 (単元計画、本時案)をWEB上で公開し、教育実習時の資料として活用している (履修者のみ閲覧可能)。			
・学生による授業評価	平成22年	～ 現在に至る	学生による授業評価 (授業に関するアンケート調査)の各項目の平均点は、5点満点中の4.5であり、学生から高い評価を得ている (保健体育科学習指導論)。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
・映像コンテンツの作成	平成22年	～ 現在に至る	学習内容の理解を深めるための「映像コンテンツ (動画)」を作成し、講義内で活用している。映像は各10分程度であり、内容は現職教諭や教育実習生が行う体育授業の様子、体育授業の教材や教具の活用例である。			
・体育授業教材のWEB上での公開	平成26年	～ 現在に至る	体育授業教材 (主に体づくり運動)を動画撮影し、動画共有サイト (youtube)にて公開している。現職教諭に対しては教材の提供 (紹介)、学生に対しては教材づくりの予習、復習に活用するように促している。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
・現職教諭を対象とした体育授業の研修会の講師	平成25年	～ 現在に至る	小学校、中学校、高校の現職教諭を対象とした体育授業の研修会の講師を担当した (大阪府教育委員会、貝塚市、枚方市、和泉市、大阪市北区他)。			
・運動部活動指導者研修会の講師	平成22年	～ 現在に至る	中学校、高校の運動部活動指導者を対象とした研修会の講師を担当した。研修会では、生徒の意欲を高める指導法に焦点を当てた講義を実施した (大阪府教育委員会、富田林市教育委員会)。			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
・教員免許更新講習の企画	平成23年	～ 現在に至る	企画、運営に携わっている。講習内容のさらなる理解を深めるため、本学では「テキスト」および「実技のDVD (動画集)」を作成し、受講者に配布している。当人は、DVDの編集、作成者である。			
・教員免許更新講習の講師	平成23年	～ 現在に至る	「体育の授業研究」、「体づくり運動の授業づくり」を担当している。			
II 研究活動						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初 (始) 頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
教員免許状更新講習テキスト2017	小林博隆/教職支援センター	pp. 97-102, pp. 161-168		大阪	平成29年12月	
新しいほけん3・4	戸田芳雄、小林博隆ほか32名		東京書籍株式会社	東京	平成31年2月	
新しい保健5・6	戸田芳雄、小林博隆ほか32名		東京書籍株式会社	東京	平成31年2月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
大学生における幼児から現在に至るまでの運動有能感が体力に与える影響	大石健二、小林博隆、大西崇仁	運動とスポーツの科学	第19巻1号	pp. 81-89	平成25年12月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初 (始) 頁～終頁	発行年月
実践論文	小学校体育授業におけるブレルボール教材の有効性について	単 小林博隆	大阪体育大学紀要	第45巻	pp. 1-10	平成26年3月
研究ノート	「体罰問題批判」を批評する	共 岡崎勝博、小林博隆	大阪体育大学紀要	第45巻	pp. 177-198	平成26年3月
実践論文	体育授業における反転授業の可能性	単 小林博隆	大阪体育大学紀要	第46巻	pp. 39-50	平成27年3月
資料論文	中学1年生男子における骨密度と運動部活動の関係	共 加藤勇之助、楠本繁生、小林博隆他3名	大阪体育大学紀要	第47巻	pp. 119-128	平成28年3月
資料論文	インターンシップ実習における「メンター指針」作成に向けての意識調査	共 村上なおみ、小林博隆他8名	大阪体育大学紀要	第47巻	pp. 129-142	平成28年3月
その他	エアロビックを中学校の体育授業に!	単 小林博隆	スマイル	第75巻	p. 10	平成29年1月

事例報告	体育系大学のキャンプ実習における受講生の履修意識と効果—本学キャンプ実習Aの事例—	共	伊原久美子、富山浩三、小林博隆	大阪体育大学紀要	第48巻	pp. 107-118	平成29年3月
研究ノート	中学校体育授業の体づくり運動領域にエアロビックを取り入れる試み	共	◎小林博隆、加藤勇之助、田淵洋勝	大阪体育大学紀要	第48巻	pp. 139-144	平成29年3月
その他	こんなときどうする？指導のワンポイント	単	小林博隆	保健と体育の情報誌	第1巻	p p. 14-15	平成29年10月
その他	学校体育にエアロビックを普及させよう！	単	小林博隆	スマイル	第79巻	p. 12	平成30年1月
その他	こんなときどうする？指導のワンポイント	単	小林博隆	保健と体育の情報誌	第2巻	p p. 14-15	平成30年6月
その他	エアロビックは運動の楽しさや喜びを分かち合える教材	単	小林博隆	スマイル	第81巻	p. 10	平成30年7月
その他	こんなときどうする？指導のワンポイント	単	小林博隆	保健と体育の情報誌	第3巻	p p. 14-15	平成30年10月
その他	部活動の在り方	単	小林博隆	スポーツフォーラム報告書		pp. 38-45	平成30年10月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国内（一般演題）	平成25年8月	日本体育学会第64回大会	教育実習における教材研究と教師行動の力量形成についての一考察	立命館大学	◎小林博隆、岡崎勝博、楠本繁生他2名
国内（一般演題）	平成26年8月	日本体育学会第65回大会	教育実習生が行う体育授業の特徴教師行動に着目して	岩手大学	◎小林博隆、楠本繁生、加藤勇之助、岡崎勝博
国内（一般演題）	平成27年8月	日本体育学会第66回大会	ユーチューブを活用した体育授業用オープン教材（OER）開発の試み	国士館大学	◎小林博隆、楠本繁生、加藤勇之助
国際	平成27年9月	日本スポーツ教育学会第35回記念国際大会	体育授業時の準備運動にエアロビック導入の試み—BPMと運動強度に着目して—	日本体育大学	◎小林博隆、加藤勇之助
国内（一般演題）	平成28年7月	日本運動・スポーツ科学学会第23回大会	体育授業オープン教材（OER）の開発と活用に関する事例的検討—テキストマイニングの分析を通して—	北海道科学大学	小林博隆
国内（一般演題）	平成28年8月	日本体育学会第67回大会	小学校教員が行う体育指導の現状に関する調査研究—体育指導を得意とする教員の特徴を探る—	大阪体育大学	◎小林博隆、圓岡裕己、加藤勇之助他
国内（一般演題）	平成28年10月	日本スポーツ教育学会第36回大会	和歌山県における運動部活動の指導実態に関する研究—運動部活動を指導する中学校教員を対象とした悉皆調査から—	和歌山大学	本山貢、小林博隆
国内（一般演題）	平成28年10月	日本スポーツ教育学会第36回大会	和歌山県における運動部活動の活動実態に関する研究—運動部活動に所属する中学生を対象とした悉皆調査から—	和歌山大学	◎小林博隆、本山貢
国内（一般演題）	平成29年9月	日本体育学会第68回大会	小学校教員が行う体育指導の現状に関する調査研究 第2報—体育指導を得意・不得意とする教員の特徴を探る—	静岡大学	◎小林博隆、菅沼徳夫、伊藤茉野他2名
国内（一般演題）	平成29年10月	日本スポーツ教育学会第37回大会	体づくり運動領域にエアロビックを普及するための基礎的調査—エアロビックに関わる有資格者を対象とした実態調査—	茨城大学	小林博隆

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）

特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成18年3月～現在に至る	日本発育発達学会 会員
平成19年9月～現在に至る	日本体育学会 会員
平成20年4月～現在に至る	日本スポーツ教育学会 会員
平成25年10月～現在に至る	日本運動・スポーツ科学学会 会員
社会的活動	
平成27年4月～現在に至る	・体育指導力向上アドバイザー（大阪府貝塚市教育委員会）
平成27年10月～平成28年9月	・和歌山県中学校運動部活動の在り方に関する有識者会議 委員
平成29年4月～平成30年3月	・きのくに教育審議会（和歌山県教育委員会） 委員
平成29年4月～平成31年3月	・和歌山県幼児教育推進にかかる有識者会議 委員
平成29年4月～現在に至る	・日本エアロビック連盟 学校体育普及委員会 委員

平成29年4月 ～ 平成30年3月	・運動部活動検討委員会（熊本県南関町） 委員		
平成29年9月 ～ 平成30年3月	・運動部活動検討委員会（大阪府教育委員会） 委員		
IV 管理活動			
期 間	内 容		
委員会活動			
平成22年4月 ～ 現在に至る	教職課程委員会		
平成25年4月 ～ 平成27年3月	教務委員会		
平成25年4月 ～ 平成27年3月	広報委員会		
特別プロジェクト活動			
平成29年4月 ～ 平成30年3月	ブランディングプロジェクト		
V クラブ活動の指導業績			
1. 指導クラブ名	体育実技研究部 部	2. 役職	コーチ（平成23年～）、監督（平成27年～）
3. 部員数	40 人		
4. 現場指導の頻度	④ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない		
5. 合宿指導	年間合宿回数： 2 回	延べ日数： 7 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
8. 部員の就職指導への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所
	特記事項なし		
10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）			
開 催 期 間	大会名	成 績	場 所
	特記事項なし		
1. 指導クラブ名	ハンドボール 部	2. 役職	部長（平成28年～）
3. 部員数	80 人		
4. 現場指導の頻度	④ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない		
5. 合宿指導	年間合宿回数： 3 回	延べ日数： 20 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	③ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
8. 部員の就職指導への取り組み	② ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない		
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所
	平成30年度全日本学生ハンドボール選手権大会	平成30年11月3日（金）～7日（火）	大阪府
10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）			
開 催 期 間	大会名	成 績	場 所
平成30年11月10日～14日	平成30年度全日本学生ハンドボール選手権大会	男子：優勝、女子：優勝	大阪府
VI 賞罰（職務に関する賞罰）			
年 月	受賞等機関名	内 容	備 考
平成28年7月	日本運動・スポーツ科学学会	日本運動・スポーツ科学学会第23回大会においてオーラル賞	